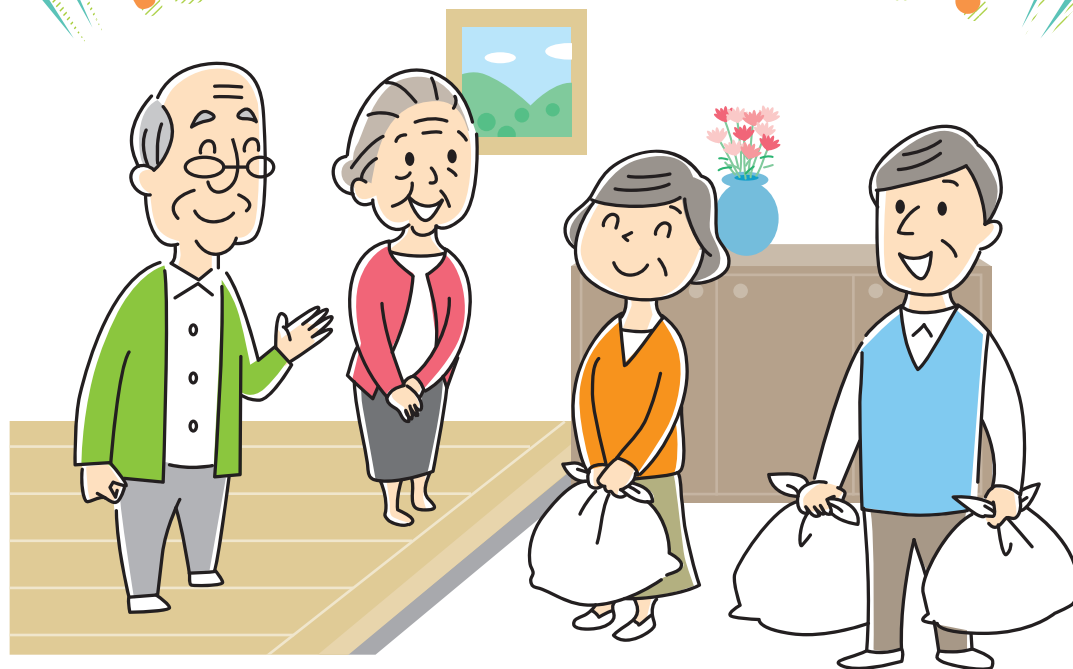




生活支援を はじめてみよう!



この冊子は、これから生活支援を始めたいと考えている住民・団体向けに作成しました。垂水区内の住民主体の活動の中から、4つの事例を紹介しています。規模や内容は様々ですが、申込み・受付から利用料金のやりとり、活動報告まで具体的な仕組みを掲載しています。ぜひ、支え合いの仕組みづくりに向けて活用してみてください。

本冊子の4つの事例についてさらに詳しく知りたい方、これから生活支援を始めたいと考えている方は、気軽に社会福祉協議会までご相談ください。

4つの事例のポイント

① 仕組みづくりは、1人ではなく仲間と一緒に

アンケートや広報、声かけを通じて、一緒に活動する仲間を集めています。

② 話し合う機会を持つ

活動の方向性や気になる人のことなど、活動をする上での課題や悩みを共有することで、一体感につながります。

③ 柔軟に仕組みを変えていく

初期に決めたことを守り抜くのではなく、ボランティアや利用者の声に合わせて、活動を変化させています。

目次

P2 ▶ はじめに

P3 ▶ きずなの会

P4 ▶ 上高丸お助け隊

P6 ▶ NPO法人ワトワーズ多聞台

P7 ▶ 霞ヶ丘ふれあいのまちづくり協議会・NPO法人輝かすみが丘

P8 ▶ 助成金・補助金情報

はじめに



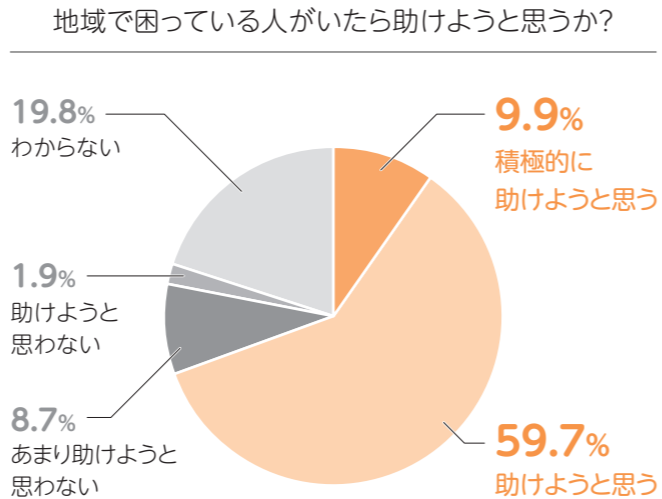
生活支援サービスとは、地域住民の主体性に基づいて運営され、地域住民一人ひとりの生活のニーズに柔軟に対応し、安定・継続して支える仕組みです(下図参照)。

公的なサービス(福祉・保健・医療)はセーフティネットとして重要ですが、それに加えて、地域住民による身近な支え合いがあることで安心して暮らし続けることができます。

近年、地域住民の人間関係が希薄になっています。ご近所に無関心な人が増えたように感じているのではないのでしょうか。

ところが、「高齢社会に関する意識調査」(厚生労働省 2016)で、地域で困っている人がいたら助けようと思うか聞いたところ、69.6%の人が「積極的に助けようと思う」「助けようと思う」と答えました。一方で、「あまり助けようと思わない」「助けようと思わない」と答えた人の最も多い理由が「普段つきあう機会がないから」でした。

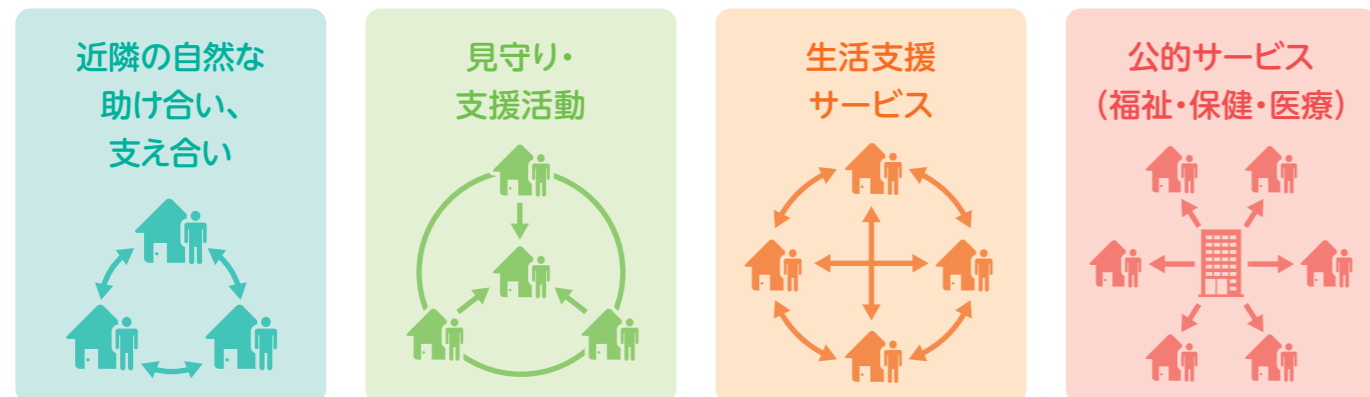
支え合いの生活支援サービスが意図的に住民同士のつながりを作り出すことで、ご近所づきあいを取り戻すきっかけになるのではないのでしょうか。



出典：高齢社会に関する意識調査(厚生労働省 2016)

支え合いとは、ある時は「支える側」になり、またある時は「支えられる側」にもなるという「支え・支えられる関係」であり、「地域住民としての対等な関係」を指しています。そういう意味では「支える側」と「支えられる側」を固定して考えるのではなく、だれもがその人らしい役割を果たしていける地域社会づくりを目指していきたいものです。

地域に根ざした生活支援



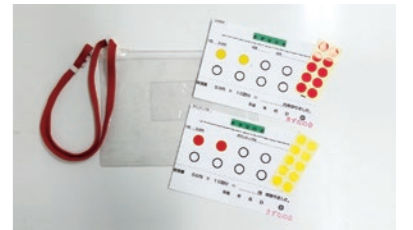
自主的、私的

組織的、公的

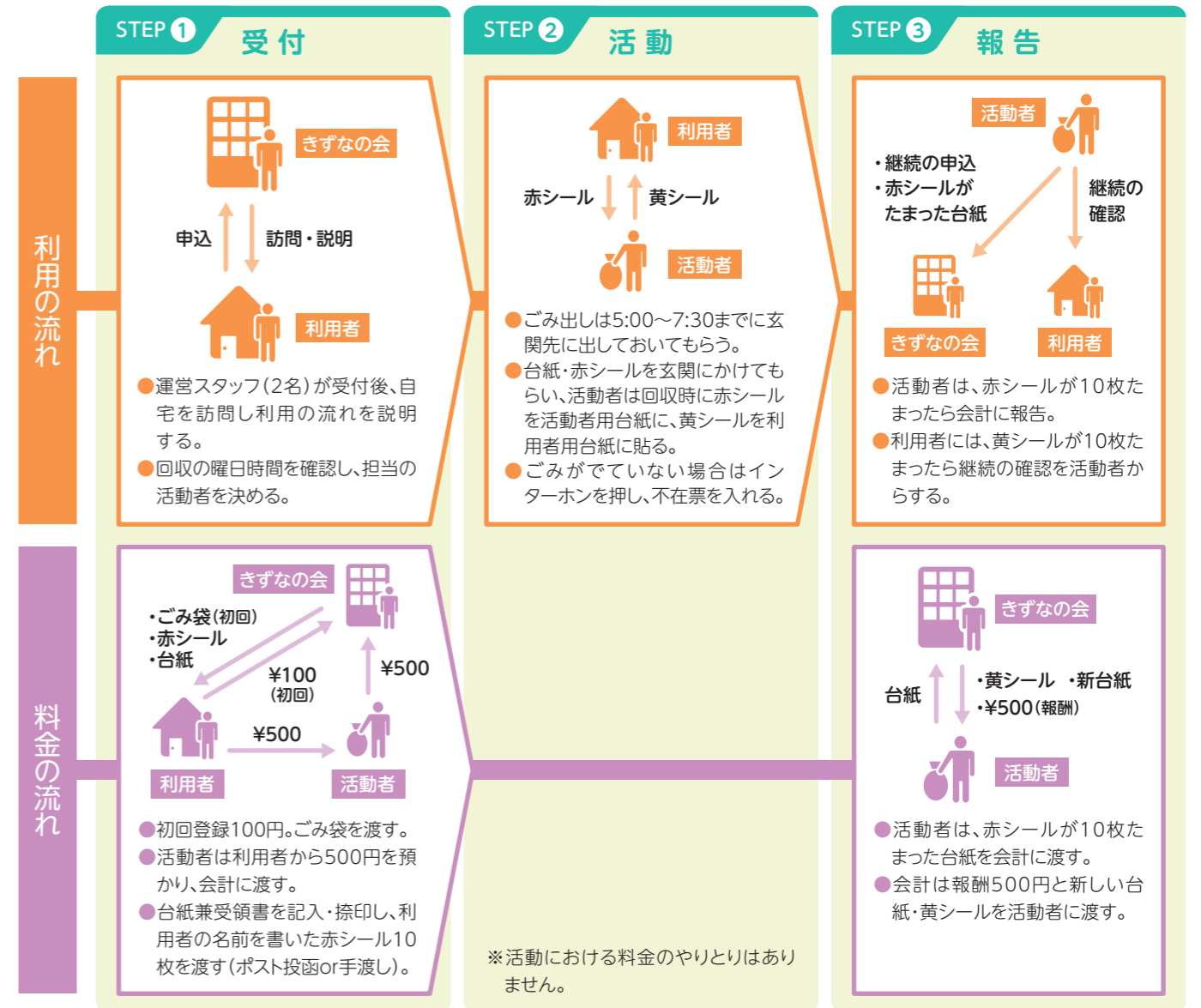


きずなの会

集合住宅の高齢者の見守り活動から発見された「ごみ出し」という課題。手伝う側の負担感をなくすために割り切って有料にしたところ、依頼しやすい・お手伝いしやすい仕組みになりました。



利用者と活動者が使う台紙とシール



代表者名	代表 杉浦 亜彦
運営スタッフ数	2名
メンバー数	3名
関係団体	・市営学が丘住宅自治会 ・本多間あんしんすこやかセンター(あんしんすこやかルームあじさい)
活動日時	・定例会(第1水曜日 13時30分~) ・1か月間の報告。内容はあんしんすこやかルームにも報告
利用料金	ごみ出し1回 50円
運営財源	・利用料金 ・コミュニティサポートグループ育成支援事業

活動エピソード

51世帯の市営住宅。集会所でのふれあい喫茶や、友愛訪問ボランティアによる見守り活動を通して、住民同士顔がわかる関係性ができている。基本的に1人で活動するが、認知症がすすみごみの用意ができない家には2人で入るようにしている。助成金を活用して購入した備品を紹介。①おむつが入っているごみ袋や新聞紙は重たいので、活動者用のキャリー 5台 ②回収までの間にカラスに荒らされていたので、1人用カラスよけネット。

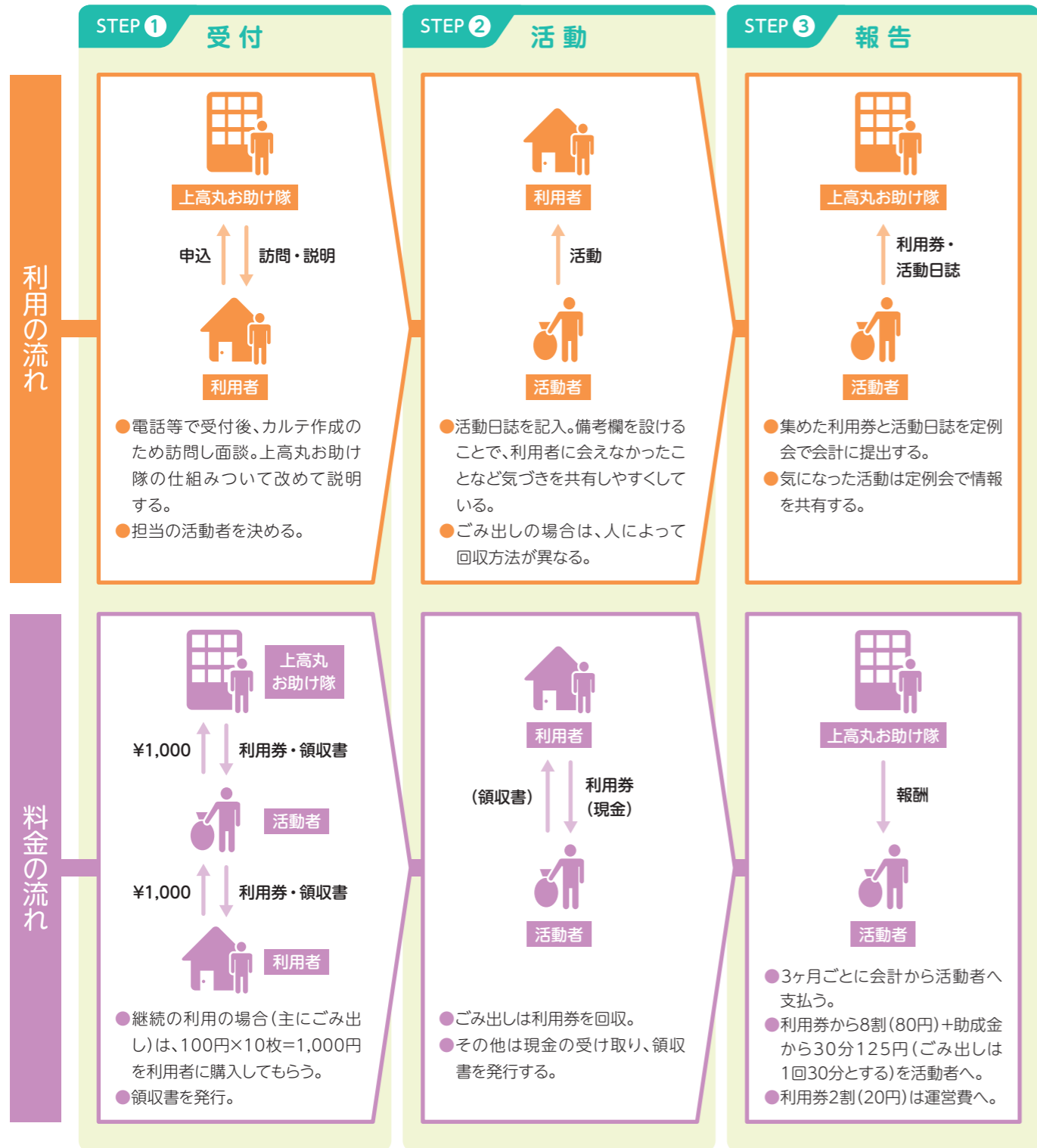


支え合いネットワーク 上高丸お助け隊

上高丸地域(千鳥が丘小学校区)は垂水区の中心部に位置し、集合住宅を中心とした地域です。

上高丸お助け隊は住民参加型のワークショップを経て平成28年4月に立ち上がりました。

ちょっとしたボランティアの芽生えが、支え合い活動に繋がっています。



代表者名	代表 徳田 一郎
問合せ先	上高丸地域福祉センター 078-707-9836
運営スタッフ数	7名
メンバー数	25名
関係団体	<ul style="list-style-type: none"> 上高丸ふれあいのまちづくり協議会 上高丸婦人会 上高丸地区民生委員児童委員協議会 ときわ会(老人会)
活動日時	<ul style="list-style-type: none"> 定例会(全体会議 第1火曜日 13時30分~) 必要に応じて、役員のみで集まることもある 活動の報告、担当決め、メニューにない依頼について意見交換、学習会など
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> 買い物支援 300円(1時間) 普通のごみ出し(燃えるごみ・燃えないごみ・ペットボトル・缶・プラスチック・新聞・ダンボール) 100円/回 電球交換 300円/回(1機材) 散歩相手・散歩の見守り 300円/回(1時間) 外出介助(車イスなどの移動補助等) 500円/回(1時間) 犬の散歩 300円/回(1時間) 草むしりなどの庭掃除 500円/回(0.5時間) ※出たごみは別途相談 庭のはき掃除 500円/回(0.5時間) 困りごと相談(地域福祉センターで) 0円
運営財源	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいのまちづくり協議会助成金 利用料金(内2割)

活動者の声

代表の徳田さん、副代表の大村さん、上高丸ふれあいのまちづくり協議会委員長の藤原さんにお話をききました。



左から藤原さん、徳田さん、大村さん

活動する上で気をつけていることは…?

例えばごみ出しのお手伝いにしても、顔を見て挨拶することを心がけています。何回か行くうちに、ちょっとしたいことも話してもらえ関係性ができています。高齢者の方は体力が落ちてきたり生活しづらさなど、長期間お手伝いすることで、変化に気がつくことがあります。その場合はあんしんすやかセンターに相談するようにしています。

活動者さんが大勢いますね

こんなにも集まってくれるとはおどろきました。特にごみ出しは校区外からの依頼もあり、依頼者の近くに住んでいる人に声をかけて活動をお願いしています。

これから上高丸がどんな地域になってほしいですか

近所同士助け合える関係があれば、本当はこの仕組みはいらなくなると思います。上高丸お助け隊がなくなることが最終の目標です。

利用者の声(アンケートから)

今回で2回目ですが、とてもよくしていただいております。本当にありがとうございます。お助け隊の方も高齢なので、夏の除草は暑くなる前にお願ひしたいと思います。(70代女性・庭の手入れを依頼)

とても助かっています。これからも今まで通りごみ出しよろしくお願いします。(80代男性・毎週1回ごみ出しを依頼)

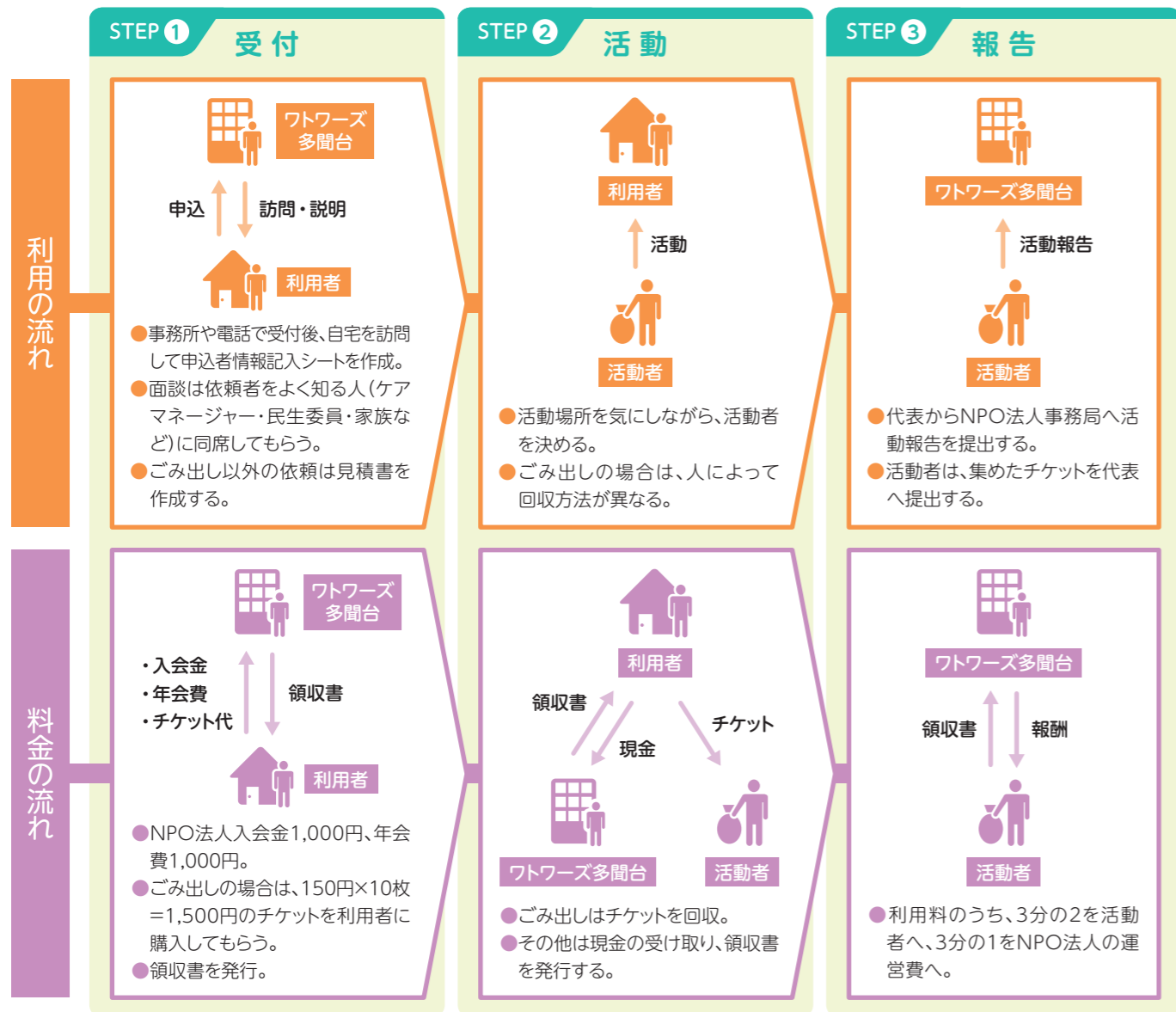


NPO法人 ワトワーズ多聞台



団体ロゴマーク

多聞台は宅地開発から50年経ち、少子高齢化が進んでいます。暮らしやすいまちづくりを目指して平成29年9月にNPO法人ワトワーズ多聞台を設立。「みんなの生活と交流サポート事業」を通して、地域に貢献しています。



代表者名	理事長 島本 信夫
問合せ先	事務所 078-798-5538
運営スタッフ数	2名
メンバー数	17名
関係団体	・多聞台ふれあいのまちづくり協議会 ・多聞台地区民生委員児童委員協議会 ・多聞台婦人会
活動日時	・NPO法人ワトワーズ多聞台連絡会(第3火曜日)
利用料金	・ごみ出し1回1袋150円 ・草刈り1人30分毎300円 ・部屋の掃除1人30分毎450円 ・電球の取替え1回1個150円 ・水やり1人30分毎300円 ・家具の移動1人30分毎450円

利用料金	・剪定1人1時間900円 ・枝打ち1人1時間900円 ・買物支援1人1時間600円
運営財源	利用料金

活動エピソード

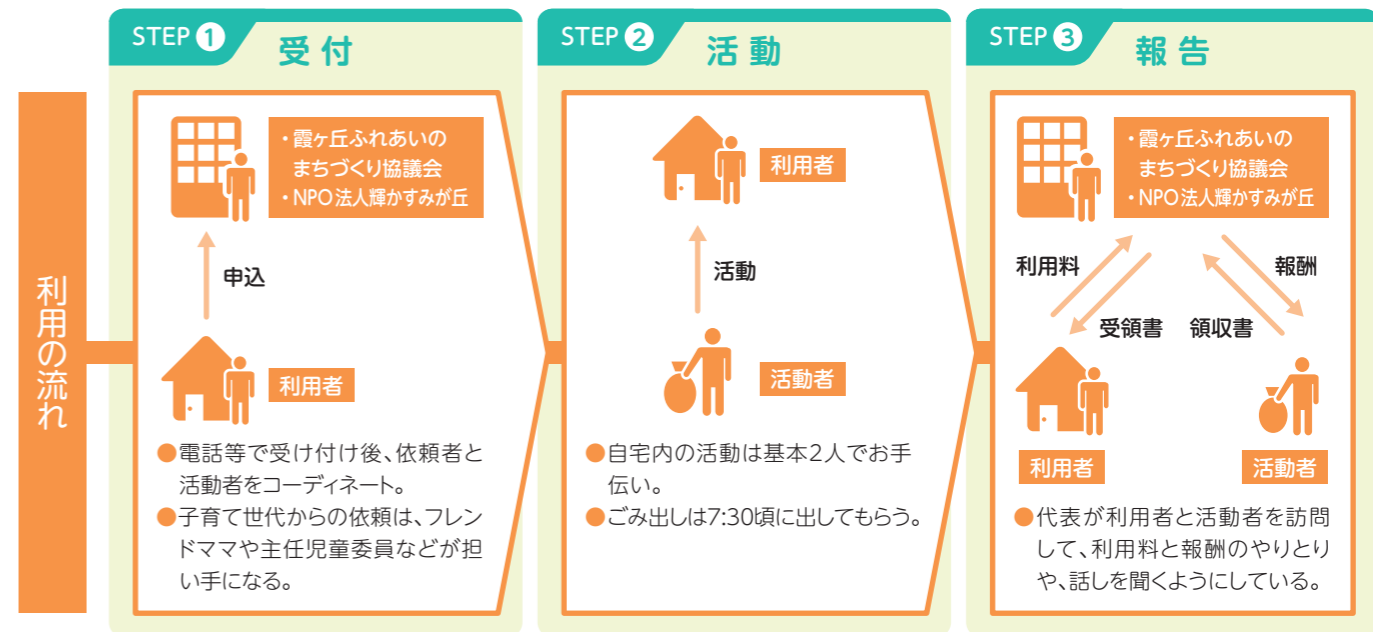
全戸にアンケートを実施。「困りごと」1位草ぬき、「手伝えること」1位ごみ出しという住民のニーズを把握することができた。依頼内容ごとに得意そうな活動者をお願いすることで、地域の人材を活かすようにしている。現在はごみ出し9件、庭の手入れや大型ごみ処分をお手伝いしている。



霞ヶ丘ふれあいのまちづくり協議会 NPO法人輝かすみが丘



霞ヶ丘地域は文教地区として子どもの数が毎年増加する一方、高齢化率も高くなっています。霞ヶ丘を基盤にする様々な団体が連携して、困りごとを気軽に相談できる、暮らしやすいまちを目指しています。



● 霞ヶ丘ふれあいのまちづくり協議会

代表者名	委員長 松下 貞夫
問合せ先	福祉対策部 (地区担当の民生委員・児童委員など)
利用料金	・洗濯、掃除等は 1回につき2人1時間750円 ・買物、病院の薬受領等 1回につき1人1時間250円
運営財源	・ふれあいのまちづくり協議会助成金 ・利用料金

● NPO法人輝かすみが丘

代表者名	理事長 榊井 啓子
問合せ先	事務所 078-783-3462
運営スタッフ数	理事6名
メンバー数	会員100名のうち、30名が実働
利用料金	・ごみ出し1回200円 ・基本1時間650円(ただし庭木の剪定など機械を使用した場合は1,000円) ・別途処分費
運営財源	利用料金(650円の内、30円が運営費。ごみ出しは全額報酬へ)

活動エピソード

霞ヶ丘ふれあいのまちづくり協議会(以下、ふれまち協)の家事支援は、介護保険制度が始まる前から開始。当初は「お手伝いできるよ」と手をあげたひとの名簿を作り、利用料金も設定。しかしながら、依頼を受ける仕組み・お手伝いするひとなど、時代に合わせた仕組みづくりが進まず、現在は「再スタート」の段階。広報しているけれど、活動が定着するにはまだまだこれから。

NPO法人輝かすみが丘の事業は地域拠点型一般介護予防事業、五色塚古墳の管理、イベント実施など多岐にわたる。家事支援では、

子育て中の世帯からの相談はフレンドママ(地域のなかで気軽に相談できる子育てボランティア)や主任児童委員などが中心に深く・長く関わる。また、ごみ出しの依頼には、なるべく近くの人にお手伝いしてもらえるよう、会員以外にも声をかけて仲間を増やしている。ふれまち協の構成員でもあるので、ふれまち協の家事支援では対応がむずかしい依頼を引き受けている。たとえば、施設に入所するひとの自宅の片付け。民生委員がキャッチできた困りごとを、地域に根ざした2つの団体がお手伝いすることで、誰にとっても住みやすい地域を目指している。

助成金・補助金情報

生活支援に取り組むにあたり、利用料のほかに助成金・補助金を活用することで、安定的な運営をすることができます。一部をご紹介します。

神戸市

① 住民主体訪問サービス

事業主体 ▶ NPO法人、任意団体

ボランティアによる生活援助を提供した実績が1年以上あること

有資格者(介護福祉士等)を責任者として配置すること等

対象者 ▶ 要支援者、事業対象者のうち、ケアプラン作成者がサービス利用が必要と認めた者

対象条件 ▶ 介護保険制度の「訪問介護」で提供する「生活援助」に相当するサービス

補助額 ▶ サービスの利用調整を行う

コーディネート経費 等

年間利用件数(延べ)	補助額
1件～49件	1件につき500円
50件～99件	25,000円
100件～149件	50,000円
以降、同様に50件ごとに25,000円(上限2,500,000円)	

※詳細は神戸市HPでご確認ください。

神戸市 総合事業 検索

② ふれあいのまちづくり協議会助成－地域福祉活動メニュー

●住民相互の生活支援事業

事業主体 ▶ ふれあいのまちづくり協議会

対象条件 ▶ 「家事援助サービス」「外出介助サービス」

月1回以上開催、

1ヵ月あたり対象者3人以上

助成額 ▶ 1ヵ月5,500円

※詳細は垂水区まちづくり課へお問合せください。

●ちょっとボランティア運動の推進

事業主体 ▶ ふれあいのまちづくり協議会

対象条件 ▶ 日常的な困りごとについて、地域で支えあいの仕組みとしてボランティアを募集し、年に数回実施日を定めて行う活動

助成額 ▶ 1回10,000円、年6回以内

垂水区社会福祉協議会

① コミュニティサポートグループ育成支援事業

地域住民が主体となり地域貢献やコミュニティづくり、介護予防に資する活動を行うグループの結成・育成支援

助成額 ▶ 年度20,000円(上限3年)

② ボランティアグループ運営費助成

対象条件 ▶ 5名以上で構成され、かつ垂水区ボランティアセンターに登録された団体。6ヶ月以上の活動実績があり、年間6日以上、かつ延べ30人以上ボランティア活動者数があること。

助成額 ▶ 上限15,000円

③ 県民ボランタリー活動助成(ひょうごボランタリープラザ)

対象条件 ▶ 5名以上で構成され、かつ垂水区ボランティアセンターに登録された団体。年間12日以上活動日数があり、経費を60,000円以上使用していること。

助成額 ▶ 30年度25,000円(県内応募団体数により変動)

※併用ができないものもあります。詳細はお問合せください。

※平成30年度の助成金・補助金の情報です。変更となる場合があります。

社会福祉法人神戸市垂水区社会福祉協議会・垂水区ボランティアセンター

〒655-8570 神戸市垂水区日向1-5-1(垂水区役所内)

TEL: 078-708-5151 TEL: 078-709-1333(ボランティアセンター直通)

FAX: 078-709-1332 E-Mail: info@tarumi-csw.or.jp

2019年2月発行